別紙１－７

# 実績報告書

| | |
|---|---|
| 事業細目名 | 被災地の総合型地域スポーツクラブ活動基盤強化事業 |
| 助成事業者名 | NPO法人スポーツアカデミー |
| 事業名 | がんばろう旭！プロジェクト③ |
| 事業の成果 | ○シニア世代のスポーツ参加に関して、運営委員の意識が高まり、情報収集が活発になった。　○コミュニティカフェをオープンさせてことにより、クラブハウス（談話室）の利用者が増えた。○歯医者さんへのスポンサー依頼を通して、スポーツと虫の関連性などを知ることができ、スタッフ研修として深めることができた。 |
| 事業に対する評価 | 震災の年より毎年、津波被害の大きかった海岸でスポーツイベント（マラソン大会）を実施してきた結果、地域の方々から『今年もみんな元気に走ってますね』と励ましの言葉をいただくようになった。イベントを通して、復興を嬉しく感じることができた。仮設住宅は撤去され、復興住宅が出来上がった。引き続き、総合型クラブとして、またNPO法人として、住民の方の課題を把握し、ニーズに応えたいが、そのためにも行政への働きかけを工夫していきたい。 |
| | 〔団体としての数値目標〕 |
| | ①財政基盤の安定を図るため、クラブ会員300名以上を維持すること。<br>②シニアを対象とした事業を月2回以上実施すること。<br>③支援していただける企業を増やしスポンサー収入を100万円以上とすること。 |
| | 〔数値目標に対する結果〕 |
| | ①クラブ会員は283名と伸びなかった。原因は競合クラブができたこともあるので地域へ新たな提案（サービス）は必要である。<br>②目標が達成できなかった。<br>③スポンサー収入は年間60万円、賛助会費10万円の計70万円であった。 |
| 事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開方法 | ☑実施結果をホームページで公開した　☑実施結果を広報誌等で公開した<br>☑事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備した<br>□その他　（　　） |
| 事業実施後に、参加者等に対する満足度調査を行ったか | ☑行った　□行わなかった　実施方法　クラブハウス談話スペースでの会話の中で行った。 |
| 事業実施期間 | 平成 26 年　4　月　1　日～平成　27　年　3　月　31　日<br>（助成期間　3　年目） |
| 活動地域 | 千葉県旭市・銚子市・匝瑳市 |
| 活動拠点となる施設とその概要 | ○旭市総合体育館（サッカー・バレーボール・バスケットボール・ダンス・体操）<br>○スポーツの森公園（ランニング）<br>○海上コミュニティ運動公園（サッカー・ランニング）<br>○東総運動場（ランニング・サッカー）<br>○飯岡体育館（バレーボール）<br>○旭市立中央小学校体育館（バスケットボール・バレーボール）<br>○旭市立第二中学校体育館（バレーボール）<br>○アカデミークラブハウス（ランニング・サッカー・ダンス・ミーティング）<br>○山柄荘グランド（サッカー） |
| 運営委員会等の構成員とクラブ運営組織概要 | ○クラブマネジャー（正・副）と主任コーチ、法人役員、地域住民による運営委員会を組織（8名程度）<br>○コーチ部会（各種目3名程度）<br>○学生サポーター（10名） |
| 団体の規模<br>（当該年度の実績） | ○定期的な活動（スポーツ教室）の種目数　6 種目<br>○実施回数（全種目合計）　732 回<br>○平均参加人数　21 人　（総参加人数　15,226 人）<br>○世代別参加者の有無　☑0～19歳　☑20～39歳　☑40～59歳　☑60歳～ |
| 実施した事業の内容 | ●定期スポーツ教室<br>①種目名：サッカー　実施：月25回　30人（１回あたり平均）<br>②種目名：バレーボール　実施：月20回　20人<br>③種目名：ランニング　実施：月 4回　35人<br>④種目名：バスケットボール　実施：月 4回　15人<br>⑤種目名：ダンス　実施：月 4回　10人<br>⑥種目名：体操　実施：月 4回　15人<br>●イベント・講習会など<br>・サッカー主催大会　6月7日・7月29～31日・11月1日・3月7日実施<br>・バレー主催大会　1月11日実施<br>・被災地域交流イベント　7月 6日実施<br>・会員募集イベント　3月14日実施 |
| 備考 | |